

## 帰農で明日のむらづくり事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 三沢区に残っている昔の地籍実測図に描かれているかつての田畑の半分以上が現在耕作されておらず、農業従事者の高齢化等による遊休荒廃農地の増加が地域の課題となっている。そこで、区民の協力のもと、遊休荒廃農地を開墾し、区民農園として再生させ、区民や退職者等からの帰農者が農業を行う「帰農」の場を拡大する。
- かつて使われていた桑や山羊といった資源の再活用を通じて、以前のむらの姿を取り戻し、明日につながる地産地消、自給自足のむらの実現を目指す。

### 事業内容

- 区民への啓発  
「農を考える講演会」を開催し、区民農園への参加を区民に対し呼びかけた
- 遊休荒廃農地の再生  
地域内の遊休荒廃農地を開墾し、大豆、ソバ、大根等の栽培を実施。(一部を区民に直売した)
- 未利用資源の再活用
  - ・果実用の桑苗を購入し、植栽した。また、栽培加工を学ぶため、先進地(島根県江津市)への視察を実施した。
  - ・子山羊を2頭購入し、山羊小屋を建設して飼育を開始した。また、飼育や交配の研修を受けた。



【ソバの種まきの様子】

### 事業効果

- 開墾により、遊休荒廃農地 18 a を復元でき、区民農園としての活用が始められた。また、山羊導入による草地管理面積も拡大できた(30 a)。荒れていた農地が整備されたことで、従来から農業を営んでいる者へもこの効果が波及し、区内の景観が改善されてきている。
- 退職者などから新たに農業を行う「帰農者」が 22 人に増えるなど、開墾した農地の利用者も確保できた。また、延 240 人の区民のボランティア参加により農園作業を実施できた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 遊休荒廃農地は、年月が経ってしまうと開墾作業が簡単にはできない。耕作ができなくなった農地をスムーズに区民農園に転換していくことが重要。
- 1年目の事業計画はほぼ実施でき、予期していた以上の成果があがったが、遊休荒廃農地の有効利用や退職者の活動の機会創出という目標に向けて、取り組める個別の課題は山積している。他の地域への拡がりも期待できるような取り組みに、引き続きチャレンジしていきたい。

### 【選定のポイント】

地域の課題である遊休農地を再生し、退職者等からの帰農者が活動できる場所を作るとともに、桑や山羊などのかつて使われていた資源を再活用するなど特色ある取り組みが実施された。

団体名 岡谷市三沢区 連絡先 電話 0266-23-0663	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 2px 5px;">ソフト・ハード事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">事業費</td> <td style="padding: 2px 5px;">1, 551, 959円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">支援金額</td> <td style="padding: 2px 5px;">1, 185, 000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト・ハード事業	事業費	1, 551, 959円	支援金額	1, 185, 000円
事業タイプ	ソフト・ハード事業						
事業費	1, 551, 959円						
支援金額	1, 185, 000円						